

## 第3学年社会科学学習指導案（公民的分野）

平成23年11月 9日（水）5校時  
授業者：教諭 種田 成博  
場所：3年 4組 教室

### 1. 単元名 第4章 わたしたちの暮らしと経済 わたしたちの生活と経済

#### 2. 単元の目標

- ・店舗の経営などの課題学習に意欲的に参加するとともに、現実の経済に対し、関心を持ち、自ら進んで調べたり、考えたりすることができる。  
〈社会的事象への関心・意欲・態度〉
- ・身近で具体的な事例を通して、経済活動における選択について、消費者・生産者などさまざまな立場から多角的に考え、公正に判断し、それをわかりやすく発言したり、発表を行ったりすることができる。  
〈社会的な思考・判断・表現〉
- ・店舗の経営などの課題学習や個人の消費生活、企業の経済活動について、さまざまな情報手段を用いて自分の考えをまとめることができる。  
〈資料活用の技能〉
- ・身近な消費生活を通して、経済活動の意義や生産・流通・消費といった経済の大まかなしくみを理解するとともに、経済活動が私たちの生活と密接な関わりがあることに気づき、その知識を身につけることができる。  
〈社会的事象についての知識・理解〉

#### 3. 学習の基盤

##### ○教材について

本単元は、中学校学習指導要領「公民的分野」の、2内容の大項目「(2) 国民生活と経済」の中項目「ア私たちの生活と経済」に該当する部分である。これに関連して、小学校3・4年生では、地域の人々の生産や販売について、見学したり、調査したりして調べ、それらの仕事に携わっている人々の工夫を考える学習をしている。また、5年生では、わが国の農業や水産業について、地図や資料などを活用して調べ、食料生産に従事している人々の工夫や努力、生産地域と消費地を結ぶ運輸の働き等を学習している。さらに中学校1年生では、「身近な地域を調べよう」という単元において、地形図を活用して学習を深めている。

近年、日本の経済はバブルの崩壊、東南アジア諸国や中国の台頭といった多くの要因が複雑に絡み合い、大きく変化を見せてきた。特に、大手小売業者による直接輸入・直接販売といった流通形態の変化や価格破壊に象徴されるデフレ問題等は近年における日本経済の象徴であるともいえる。

私たちが暮らしていく上で、経済活動は日々営まれているものであり、私たちの生活に大きな影響を及ぼすものである。また、TV、インターネット、新聞などから溢れ出すCMや広告を目の当たりにし、それらを判断材料として商品を購入している生徒も多い。

以上のことから、中学生の時期に経済活動の意義やそれに関わる諸問題等に関心を持たせ、自分のこととして考えさせていくことは、「賢い消費者の育成」という視点だけではなく、起業家教育やキャリア教育視点でも大変重要であると言える。

##### ○生徒について

… 〈個人情報保護のため省略〉 …

##### ○指導について

以上のことから、本単元では生徒の興味や関心を高めさせるために、導入となる時間を工夫し、経済単元の身近さや学習することの楽しさ、大切さを伝えたい。また、これまでの学習において、新聞やニュースなどからタイムリーに時事に関する話をしたり、教科書には記載されていない問題をクイズ形式で出したりすると生徒が意欲的に耳を傾けたり、考えようとしたりする姿が見られた。そのため、本単元でもそのような取り組みを継続したい。

本時は経済単元の導入となる最初の時間である。教科書では「ハンバーガーショップの経営者になってみよう」（H24年度用教科書では「コンビニエンスストアの経営者になってみよう」）という架空の町でのシュミレーションゲームが例示されている。この教材は、経済学習の基礎である「選択」や「需要・供給」などに気づかせることができる。しかし、生徒の学習に対する意欲をより高めさせることや地域の経

済活動に目を向けさせる機会とすることを考えると「自分たちの住んでいる地域」を題材にした方が望ましいと思う。また、最近、学校近くの田和山地域にて、商業地（一部住宅地）の整備が進められており、これに対する生徒の関心も高い。そこで、工夫した学習課題に取り組みせれば、経済単元は、身近で「楽しい」または「おもしろい」と思わせることができ、その後の学習に良い影響を与えるものと考えている。また、この授業では思考力や判断力を育てることも目標とする。そこで、前述の生徒の実態等から、「個人→グループ→全体→個人」といった学習過程を意図的に採用したい。その際、特にグループ学習において、司会者や記録者など役割分担をはっきりとさせたり、ホワイトボードを有効的に活用させたりして、話し合い活動がより充実したものなるように工夫したい。

#### 4. 指導および評価計画（全5時間）

次	学習活動	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
1 1時間	ハンバーガーショップの経営者になってみよう（本時）	学習課題に意欲的に取り組むとともに、経済単元への興味や関心を高めることができる。	2つの資料を関連づけながら、開店場所について考えることができる。		
2 1時間	消費と貯蓄			多重債務など消費者が抱える問題について、事例や統計資料を収集し、読み取ることができる。	消費者は限られた時間と収入をもとに商品を選択していること、家計における所得と消費と貯蓄の関係を理解し、その知識を身につけることができる。
3 1時間	消費者の権利と保護	宣伝や広告についての調査や話し合いに進んで取り組み、消費者主権と消費についての諸問題に関心を持って、意欲的に学習することができる。	宣伝や広告と日常の消費行動との関係、消費者自身の責任などについて、多面的・多角的に考察し、企業、消費者の立場から公正に判断、表現することができる。		
4 1時間	流通のしくみ		流通に携わる業者の役割や流通業者が抱えている合理化の課題について多面的・多角的に考察し、生産者、消費者などそれぞれの立場から公正に判断、表現することができる。	流通のしくみや流通の合理化のための取り組みについて、具体的な事例を収集し、図表などにまとめることができる。	生産と消費の仲立ちとしての流通の大まかなしくみや経路について理解し、その知識を身につけることができる。
5 1時間	生産のしくみ	株の売買学習に意欲的に取り組むとともに、株価が変動する原因を積極的に探ろうとしている。			資本主義の大まかな特徴と株式会社のしくみを理解することができる。

5. 本時の授業

(1) 目標

- ・学習課題に意欲的に取り組むとともに、経済単元への興味や関心を高めることができる。  
(社会的事象への関心・意欲・態度)
- ・2つの資料を関連づけながら、開店場所について考えることができる。  
(社会的な思考・判断・表現)

(2) 教員の準備物等

- ・ホワイトボード (大1 小9)      ・シール (35枚)
- ・乃木地区の地図 (黒板掲示用1 グループ話し合い用9)

(3) 本時の展開

学習内容と生徒の活動	○留意点 □支援 ●評価規準と方法
<p>1 本時の学習課題等の確認 学習課題</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>『乃木地区にハンバーガーショップを出店するとしたら、①から⑤のどの場所にするだろうか。』</p> </div> <p>(約3分)</p> <p>2 学習課題に対する個人の意見の確認 (約2分)</p> <p>3 グループでの意見交換 (約12分) 教師の発問 「グループの人が同じ会社の出店計画チームのメンバーの人だとして、どこに出店すべきか相談してください。」</p> <p>4 グループの代表による発表 (約15分) 予想される生徒の発言 ※別紙参照</p> <p>5 学習課題に対しての個人による再考 (約10分)</p>	<p>○留意点 □支援 ●評価規準と方法</p> <p>○あまり時間をとらない。札を使って一斉に確認する。</p> <p>○話し合いのルールを確認する。 ・全員が必ず意見を言う。 ・大切にしたいのは理由である。 ・他人の意見を否定しない。 ・グループでどちらか一カ所に意見をまとめるように努力する。但し、無理はしない。</p> <p>●学習課題に意欲的に取り組むとともに、経済単元への興味や関心を高めている。(関=発言, 行動観察)</p> <p>□机間支援を行い、話し合いの様子をメモをとるとともに、自分の意見が言えない生徒やグループでの話し合いが活発に行われない班に対しては適宜声をかけ、活動を促す。</p> <p>□意見が一カ所に偏るグループについては、メリットとデメリットについてもう一度考えさせる。</p> <p>○出店場所の番号を述べさせてから、その理由を発表させる。</p> <p>○意見がまとまらなかった班についてはどういう意見が出てまとまらなかったか発表させる。</p> <p>○すべての班が同じ意見だった場合は、反対の意見を述べていた生徒にその理由を発表させる。(場合によっては意見が変わった理由を述べさせる。) また、クラス全員が同じ意見になった場合は他の場所を選ばない理由を発表させる。</p> <p>●2つの資料を関連づけながら、開店場所について考えている。 (思=発言, ワークシート)</p>

	<input type="checkbox"/> 一斉に回答できるように、札をあげさせる。 <input type="checkbox"/> 意見が変わった生徒になぜ意見を変えたか発表させる。
6 田和山地区の商業地開発についての説明 (約5分)	<input type="checkbox"/> 事務局長の方のお話を紹介し、経営者や消費者の視点だけでなく、経済の動き等についても触れ、理解を深めさせる。
7 宿題や次時についての連絡 (約3分)	

(4) 具体的な評価

	十分満足できると判断される生徒の具体例	おおむね満足できると判断される生徒の具体例	支援を必要とする生徒への指導の手立て
学習課題に意欲的に取り組むとともに、経済単元への興味や関心を高めている。(関=発言, 行動観察, ワークシート)	自分の意見を発表するだけでなく、自分と異なる考えを持つ生徒に進んで質問したり、意見を述べたりすることができる。	自分の意見を班の中で述べるができる。	自分の意見を班の中で述べるができない。→自分の意見に近い生徒の名前を言わせ、自分の言葉でもう一度意見を言うようにアドバイスする。
2つの資料を関連づけながら、開店場所について考えている。(思=発言, ワークシート)	経営者、消費者それぞれの立場や開店場所の諸条件を関連させるとともに、他の場所と比較しながら考えることができる。	経営者、消費者それぞれの立場や開店場所の諸条件を関連させながら、考えることができる。	経営者、消費者それぞれの立場や開店場所の諸条件を関連させながら、考えるができない。→ヒントカードを用意し、お客の数からどこが良いか考えさせる。

(5) 研究の視点

- ・学習課題は生徒の興味や関心を高めるものであったか。